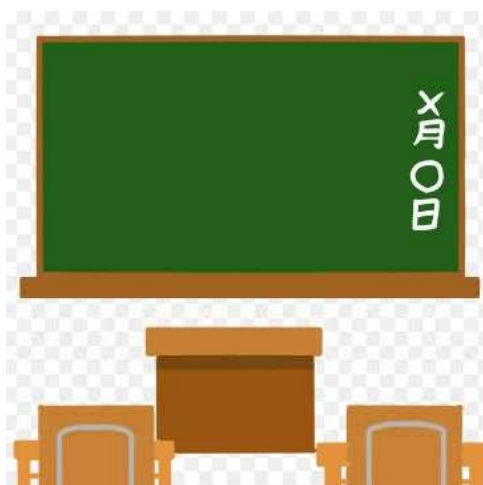




**ひとひひとひの真の学びを支え
誰ひとり取り残さない教育のための
「8つの教育施策」**



令和7年12月

海老名市教育委員会



1

授業改善に取り組んでいます

平成 30 年度より、重点施策として「授業改善」を掲げ
全教員で「よりよい授業づくり」に取り組んでいます。



学習指導要領で示されている、「主体的・対話的で深い学び」の
視点に立った授業改善を行っています。

令和 7 年度は、文部科学省教科調査官を小学校 1 校、中学校 2
校に招き、授業改善にむけた実践的な取組を実施しています。

また、教科指導充実のための書籍を配備しています。

さらに、平成 30 年度より研究会を立ち上げ、よりよい授業づく
りのための研究を継続して行っています。

令和7年度予算
12 万 5 千円

2

ICT活用教育を推進しています

わかりやすく楽しい授業を展開するために、ICT 機器
を活用した教育を進めています。



全児童生徒に 1 人 1 台端末を整備し、教室のプロジェクター等
の ICT 機器や授業支援ソフトと併せて、活用しています。

今年度から、1 人 1 台端末を原則毎日持ち帰りとし、さらなる
活用を進めているところです。

今後も、より効果的な活用方法について研究していきます。

令和7年度予算
4 億 9994 万 4 千円

3

ALT（外国人指導助手）を配置しています

小学校の外国語・外国語活動や中学校の英語科におけるコミュニケーション活動を充実させるため、ALT（外国人指導助手）を配置しています。



令和7年度は、13名のALTを市内小中学校19校に配置しています。

また、1つの小学校に13名のALTを同日に配置し1日を通じて英語に親しむ『English day』を行っています。

さらに、中学校における海外とのオンライン交流を実施しています。

令和7年度予算
1312万5千円

4

教員の研修・研究を推進しています

教員の指導力向上のために、指導法講座などの研修会を開催しています。令和5年度からは、教員がより主体的に取り組み、充実した研修を行えるよう、市主催研修の体系を改善しました。

また、各学校での校内研究をサポートしています。



講師をお招きした研修会や実技講座を開催し、教職員の資質向上を目指しています。令和5年度からは、選べる研修の種類を大幅に増やし、教員がより主体的に学べるようにしています。

また、小学校2校、中学校1校を「ひびきあう教育研究指定校」、1中学校区を「ひびきあう教育：外国語教育推進学区」に指定し、教育活動の充実のために、教育実践研究を委託しています。

R7 ひびきあう教育研究指定校…有鹿小学校、上星小学校、海老名中学校

R7 ひびきあう教育：外国語教育推進学区…大谷中学校区

令和7年度予算
1150万1千円

5

少人数指導（チームティーチングなど）のための教員を配置しています

ひとりひとりのこどもの学力に応じたきめ細かな指導を目的として、市費で非常勤教員を配置して、少人数学級や少人数指導を進めています。



他市に先駆けて、平成 17 年度からスタートし、令和 7 年度も市費で小中学校に非常勤教員を配置しています。

令和7年度予算
1462万7千円

6

フルインクルーシブ教育推進のために様々な人材を配置しています

「すべてのこどもが、地域の小学校、中学校でともに学ぶことができる環境の実現」をめざし、フルインクルーシブ教育を推進しています。その実現に向けて、次の表のとおり、市費で様々な人材を配置しています。



【令和7年度 配置内訳】（令和7年5月1日時点）

職名	主な職務内容	配置人数
補助指導員	通常学級に在籍する児童生徒への学習支援	21
介助員	支援学級在籍児童生徒の学習や生活への支援	88
看護介助員	医療的ケアを必要とする児童生徒への支援	11
スペシャルサポート ルーム支援員	不登校傾向や、学級で過ごすことが難しい児童への支援	22
心の教室相談員	不登校傾向や、学級で過ごすことが難しい生徒への支援	17
日本語指導講師	外国につながるのある児童生徒への日本語指導	7
言語聴覚士・支援員	ことばの指導が必要な児童生徒への支援	4
学習支援ボランティア	学習や学校行事等、こどもや学校への支援	203

令和7年度予算
1億9,323万7千円

7

「学校応援団」による学校支援を進めています

平成 27 年度より、小学校に「学校応援団」を設置し、地域の方々の力によりこどもと学校を支援する取組を進めています。



「学校応援団」では、学校の授業や行事の支援、学校環境の整備などを行うとともに、「えびなっ子スクール」や「あそびっ子クラブ」などの運営を行っています。学校と地域の実態に応じた多様な支援活動を推進しています。

令和 7 年度予算
4590 万円

8

コミュニティ・スクール、小中一貫教育を推進しています

平成 29 年度から、こどもの育ちを9年間で支える「小中一貫教育」に取り組んでいます。平成 30 年度には全小中学校に学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」となりました。令和5年度からは、小中合同で中学校区の学校運営協議会を実施しています。



【小中一貫教育】

中学校区ごとに共通の目標を定め、その達成にむけて小中学生の交流や教職員の話し合いなどを進めています。

【コミュニティ・スクール】

各校の学校運営協議会で、「地域のこどもをどう育てるか」について、地域住民や保護者、学校教職員が共に話し合っています。令和6年度からは、この協議会をより充実させるべく、協議会委員を対象にした研修会を開催しています。

令和7年度予算
127 万 7 千円